

～かしわっ子の応援団～ 稀府小学校学校運営協議会だより

5月22日（水）に令和元年度第1回学校運営協議会を開催いたしました。今年度の異動により、まれふ児童クラブ代表の多田寛子様と、丸山賢司校長が加わりました。この他に事務局として学校より教頭（柳澤）、教務主任（高橋）、地域参画係（林）の3名が加わっております。

第1回目は、昨年度3月に開催いたしました学校運営協議会において承認いただきました「学校経営方針」について再度確認され、今年度の学校運営について説明・協議を行いました。

【協議内容】

- (1) 平成31年度（令和元年度）学校経営方針について
- (2) 児童・世帯数、教職員構成について
- (3) 校務組織、推進事項について
- (4) いじめ防止基本方針について
- (5) 学力・学習改善プランについて
- (6) 体力向上プランについて
- (7) 次期学習指導要領に向けての取組について
- (8) 地域連携について

＜学校運営協議会委員からの質問、意見及び回答＞

■児童の読書の状況はどうか？

→昨年度1月の調査で、1日10分以上読書をしている児童の割合は全校平均で50％程度である。全体的に読書離れが進んでいる。今年度の目標は60％を目指したい。

■「数学的な考え方」とはどのようなことか？

→今年度の全国学力・学習状況調査では、待ち時間を計算で求める問題が出た。日常的な事象を数学的に考えようとする。難易度が高いため、数値目標を60％に設定している。

■「言語活動」とはどのようなことか？

→筋道を立ててわかりやすく、書き表したり、話したりする活動である。

■体力向上に関して、早朝や夕方に、家族と一緒にマラソンの練習をしている児童がいた。

■学習指導要領の移行に係わる時数の確保については、稀府小独自の取組か？また、臨時休校で時数が減少した分はどうするのか？

→時数の確保は伊達市全小中学校で行っている。余分に時数を確保して計画を立てている。

■先生方の勤務時間について大変な状況であることを聞いたが実際はどうか？

→教職員は休憩時間を取らずに勤務しているのが現状である。また、家に持ち帰って仕事をすることもある。

（意見）企業では機械化をして、仕事の効率を上げられるが、学校は人と人との職場なのでそうはいかない。業務は増える一方であり、やり過ぎではないかと感じる。会議の開始時間も配慮していく必要がある。

■児童クラブの状況はどうか？

→1～6年生まで26名が利用している。在校児童の約半数に当たる。両親が共働きの状況である。

■給食時間が短いというニュースを聞いたことがあるが、稀府小の状況はどうか？

→食べている時間として20分以上は確保している。低学年は時間がかかるため延長している。食べる時間や片付ける時間を確保することにより、休み時間が短くなってしまう。

■くじら公園の様子を先生方に見に来てほしい。1年生は道路の渡り方が身に付いていない。

令和元年度

第4代 稀府小学校学校運営協議会委員

